

# 【資料 1 - 6】

## 各分科会からの報告について

### 【グループ 1】

#### (1) 評価施策

##### ・重点プロジェクト

重点プロジェクト①【市民力】 将来を見据え人を育み、活かすまちづくり

##### ・分野別施策（計 13 項）

第 4 章 まちづくり（3 項）、第 5 章 教育・文化・スポーツ（6 項）、

第 7 章 行財政経営（4 項）

#### (2) 分科会名簿

役 職	氏 名	所 属 等
分科会長	柳井 雅也	東北学院大学 名誉教授
	松橋 綾子	アイリスオーヤマ(株) 安全衛生課マネージャー
	吉田 誠	J A X A 角田宇宙センター 特任担当役
	毒島 弘美	角田市教育委員会 委員

#### (3) 分科会開催状況

##### ・日 時

令和 7 年 6 月 9 日（月） 10：00～12：05

##### ・出席委員

柳井委員長、松橋委員、吉田委員

#### (4) 分科会で出た主な意見

##### ・分野別施策

分野別施策 （【資料 1-3】 対応ページ）	主な意見
第 4 章 1 節 1 項 住民自治による地域づくり (P 4 7～P 4 8)	・地域づくりを行うとき、イノベーションの起こし方が重要になってくる。何か主催で行った時に、それだけで終わりにせず、参加メンバーで、ことお越しを考えていく。繋がっていく仕組みづくりをしていければ。(柳井分科会長)

分野別施策 （【資料 1-3】 対応ページ）	主な意見
第 4 章 2 節 1 項 継続的なつながりの確保 （P 5 1～P 5 2）	・ JAXA にバスでミステリーツアーとして訪れる団体がある。どこに行くか目的地が分からないツアーのようだが、結構人気のものである。皆さん JAXA の見学を楽しんでお帰りになるので、角田の魅力を活かしたものができるとは思わないかと思う。（吉田委員）
第 5 章 1 節 1 項 学力・心・体の育成 （P 5 3～P 5 4）	・ 地頭のいい子を作ることが大事。角田市の学力は全国平均より下回っているとのことだが、角田にはアイリスや JAXA もあり、なぜ平均を超えていかないのか不思議。アイリスであればアイデア商品を年に何万点と新商品開発している。このアイデア力を地元に戻元して根付かせていく。教育の問題は、教育だけで考えるのではなく、周りの力を借りて（水平思考、ラテラルシンキング）取り組んで行けば、軽々と平均を超えていくと思う。（柳井分科会長）
第 5 章 2 節 1 項 生涯学習の充実 （P 5 7～P 5 8）	・ 「オーディブル」という書籍を朗読した音声コンテンツ配信サービスがあるが、読み上げ機能が付いていてとても便利。電子書籍にもそういった工夫があるともっともっと活用されると思う。（吉田委員）
第 7 章 1 節 1 項 広報活動による情報発信 （P 8 5～P 8 6）	・ 回収率 31.4%と聞くと、回収率はあまり高くないと感じた。そこでの満足度の数字ということでちょっと課題が残るかなと感じた。PR 大使が積極的に活動しているところで、広報活動は順調なのかなと感じるが、アンケートの回収率はもう少し上げていただく工夫をお願いしたい。（松橋委員）
第 7 章 2 節 2 項 DX による新しい行政の確立 （P 9 1～P 9 2）	・ 対市民と市役所の関係で話をされているが、職員の資質向上や行政の効率化ということを考えると、生成 AI の有効活用を考えないといけない。議会の要約化など野心的なことを考えてほしい。（柳井分科会長）

・ 重点プロジェクト

重点プロジェクト （【資料 1-4】 対応ページ）	主な意見
① 将来を見据え人を育み、活かすまちづくり【市民力】  （P 1～P 4）	・ 戦略は良し、戦術をどう考えるか。公務員はロジカルシンキングで考えてしまう。ゴミが多いのでゴミ箱を設置するのがロジカルシンキング。ゴミ箱の上にバスケットゴールをつけるとゴミ箱に捨てる人が増える、これがクリティカルシンキング。イベントをイベントで終わらせず、集まった人を地域づくりにどう入れていくか。そういった戦術化を進めてほしい。（柳井分科会長）

(5) 全体会での再評価とした分野別施策

分野別施策 （【資料 1-3】 対応ページ）	再評価とした理由
なし	

## 【グループ2】

### (1) 評価施策

- ・ 重点プロジェクト  
重点プロジェクト②【地域共生】ともに生き、活かし合うまちづくり
- ・ 分野別施策（計14項）  
第1章 安心・安全（3項）、第2章 保健・医療・福祉（11項）

### (2) 分科会名簿

役 職	氏 名	所 属 等
分科会長	森 明人	東北福祉大学 教授
	磯部 裕子	宮城学院女子大学 名誉教授
	遠藤 恵美子	角田光の子保育園 園長
	安藤 由紀子	角田市医師会

### (3) 分科会開催状況

- ・ 日 時  
令和7年6月9日（月） 10:00～12:15
- ・ 出席委員  
森委員、磯部委員、遠藤委員

### (4) 分科会で出た主な意見

#### ・ 分野別施策

分野別施策 （【資料1-3】対応ページ）	主な意見
第1章1節2項 災害に強い防災体制の整備 （P3～P4）	・地域防災計画について、防災訓練に出る人が少ないので、形式的なものだけでなく、映画の上映を行うなどして柔らかいものも加えると良いと思う。自分たちのところに合った計画を作る必要がある。（遠藤委員）
第1章1節3項 交通安全・ 防犯対策の推進 （P5～P6）	・指標はすでに達成しているため、後期計画で新たな指標の設定が必要。自転車のヘルメット着用の努力義務化の法改正など、情報の普及は色々な場面で必要になる。（森分科会長）

分野別施策 （【資料 1-3】 対応ページ）	主な意見
第 2 章 1 節 1 項 健康づくりの推進 （P 7 ～ P 8）	・無関心層と受けているかどうかわからない人が一緒になってしまっているのは次の働きかけができなくなってしまう。そこを工夫する必要がある。（磯部委員）
第 2 章 1 節 3 項 地域医療体制の充実 （P 1 1 ～ P 1 2）	・応募がなかったときどうするか。子ども子育て会議の委員長としても何とか進めていただきたいと思っている。（磯部委員）
第 2 章 2 節 1 項 子育て支援の推進 （P 1 3 ～ P 1 4）	・地域資源というのは子ども食堂のようなものを想像していたが、子ども食堂は回数が足りないと思う。どこかに行けばごはんが提供できるような環境があれば良いと思う。（遠藤委員） ・子ども食堂の設置数のようなものを指標にしてもらえると評価しやすい。歩いて 15 分くらいのところにあると、問題のある家庭の把握などもできる頼りになる拠点になると思う。（森分科会長）
第 2 章 2 節 2 項 乳幼児の保育・教育体制の充実 （P 1 5 ～ P 1 6）	・待機児童がいないのに「待機児童対策に努めたい」が良いのか疑問。角田市で保育士をやる良さがないと保育士は集まらない。充実のためにはお金もだが人。どう確保してどうしていくかが課題（磯部委員）
第 2 章 3 節 4 項 障害者（児）福祉サービスの充実 （P 2 5 ～ P 2 6）	・地域活動支援センター事業は地域共生社会にとっては大事なこと。障害者の社会参加や居場所づくり、自己実現ということは今重要視されている。隣の山元町で先進的な取り組みをされているので、視察等行うなど参考にされるといいかと思う。（森分科会長）

・重点プロジェクト

重点プロジェクト （【資料 1-4】 対応ページ）	主な意見
②ともに生き、活かし合うまちづくり【地域共生】 （P 5 ～ P 8）	・項目としては、進んでいるな、進んだなという印象がある。（遠藤委員）

(5) 全体会での再評価とした分野別施策

分野別施策 （【資料 1-3】 対応ページ）	再評価とした理由
なし	

## 【グループ3】

### (1) 評価施策

・重点プロジェクト

重点プロジェクト③【地域資源フル活用】地域資源を活かすまちづくり

・分野別施策（計19項）

第3章 産業振興・就労（9項）、第6章 都市基盤・生活環境（10項）

### (2) 分科会名簿

役 職	氏 名	所 属 等
分科会長	加藤 泰彦	角田市商工会 会長
	杉 裕太	七十七銀行 角田支店 支店長
	中嶋 厚次	Astemo(株)BPO 宮城/巨理 宮城総務安全衛生課 マネージャ
	齋藤 仁	みやぎ仙南農業協同組合 理事
	佐々木 卓実	大河原地方振興事務所 地方振興部長
	戸田 宏士	司法書士

### (3) 分科会開催状況

・日 時

令和7年6月9日（月） 13:30～16:20

・出席委員

加藤副委員長、中嶋委員、齋藤委員、戸田委員

### (4) 分科会で出た主な意見

・分野別施

分野別施策 （【資料1-3】対応ページ）	主な意見
第3章1節1項 安全安心な農畜産物の生産 （P29～P30）	・この頃イノシシの数が減っていると聞くが、まだまだいるので今後とも補助等をよろしく願いたい。（齋藤委員）

分野別施策 （【資料 1-3】 対応ページ）	主な意見
第 3 章 1 節 2 項 地域農業の推進 （P 3 1 ～P 3 2）	・ 山間部や農村部に住んでいる方が亡くなり、その相続する方がそこに住んでない場合に、農地や山を相続してもそのまま荒れてしまう。本人達も負担が重く、管理が大変なので、新規就農者の募集と一緒に、そちらの方の情報を集めて、安く買ってもらえるのはどうか（戸田委員）
第 3 章 2 節 1 項 商店街活性化の支援 （P 3 7 ～P 3 8）	・ 空き店舗活用数については、既に後期目標値を達成している状況であるが、更なる活性化を目指すために目標値の変更も検討してはどうか。空き店舗になる前に廃業する店舗の支援などを行えば、さらに活性化に対する効果は大きいと思う。（杉委員）
第 3 章 2 節 2 項 企業立地の振興 （P 3 9 ～P 4 0）	・ KPI が角田市の活性化に繋がっていないのではないかと。後期計画策定時に再度検討いただきたい。（中嶋委員）
第 3 章 3 節 2 項 道の駅かくだの活用 （P 4 5 ～P 4 6）	・ 道の駅は利益出すのは当然の話ではあるが一方で、農業に従事する方々の販売ルートとしての大きな役割がある。適正な利益を得て、職員を抱えて順調に雇用できて、ある程度の黒字を出してというのが道の駅の理想の姿だと思っている。（加藤分科会長）
第 6 章 1 節 2 項 公共交通システムの存続 ・ 利便性向上 （P 6 7 ～P 6 8）	・ 阿武隈急行線の維持は角田市として最後の砦のように思っている。阿武隈急行線に力入れないと角田市としてその先が本当に苦しくなる。どんな施策よりも真剣にお金も使うべき。この緊張感は長期総合計画の中の他の施策と同じではない。ここだけは結果がついてこなければならない。現在赤字の路線だと考えると、この結果が変わらないといけない。乗降客数の桁が変わるために何をするのか、最終的に 100 万人になるのであれば、角田市に必ず貢献する。暮らしが残っていなければ、電車も一緒になくなってしまふ。その温度が感じられない。（中嶋委員）
第 6 章 2 節 1 項 快適な住環境づくり （P 7 1 ～P 7 2）	・ 企業の従業員が住むところは必ず必要なので人口を増やすために、阿武隈急行線の維持と同じくらい力を入れていい施策だと思っている。後期計画のときにぜひ内容検討いただきたい。（中嶋委員）
第 6 章 3 節 1 項 脱炭素社会の形成 （P 7 7 ～P 7 8）	・ 脱炭素社会の形成という項目に対して、KPI が出前講座ということに疑問符が付く。脱炭素社会は大きな取り組みだと思う。それにどれだけ近づいているかという判断は出前講座参加者だけではなかなか図れないと感じる。（加藤分科会長）

・重点プロジェクト

重点プロジェクト （【資料 1-4】 対応ページ）	主な意見
③地域資源を活かすまちづくり【地域資源フル活用】 （P 9～P 1 4）	・ KPI 通りで見ると、順調に進んでいると見えるが、今順調だとすると、角田市がなぜ少し苦勞しているのかということに繋がってしまう。KPI をどう設定するかによって評価が変わるので、この KPI に対しては、概ね順調については合意するが、実際に今の施策というのが角田市の未来を明るくするようなものになっているかについては、全くそうは思えない。KPI の見直しをしていかないといけないのではないかと感じる。（中嶋委員）

（5）全体会での再評価とした分野別施策

分野別施策 （【資料 1-3】 対応ページ）	再評価とした理由
第 3 章 2 節 3 項 安定した雇用の確保 （P 4 1～P 4 2）	・本市在住の高校新卒者の市内事業所への就職率について、初期値から就職率が減少しており、やや遅れているのレベルではないのではないかという意見があった。「やや遅れている」から「遅れている」という評価へ変更する。